

図書館だより 1月

ワシントン日本語学校図書館 (tosho@wjls.org) 令和2年 1月号
開館時間 8時50分～4時

あけましておめでとうございます



新しい一年がはじまりました。お正月にみなさんはなにか今年の目標を立てましたか？昨年3月に現役を引退したイチローさんは、「ここまで来て思うのは、まず手の届く目標を立て、ひとつひとつクリアしていけば最初
は手が届かないと思っていた目標にもやがて手が届くようになるということですね。」と言っていました。大きな目標を達成するためには、いつだって目の前の小さなことを達成していくこと。みなさんになりたい自分を
目指して、なにか目標を立ててみませんか。毎日その目標に向かって少しずつでも努力する、そんな一年になりますように。今年もたくさんの本と出会い、発見したり、感動したり、考えたりと心ゆたかに過ごしたいですね。

今月の人気シリーズ貸出利用案内

藤子不二雄大全集

漫画

1月11日	高学年・中	幼～2年生
1月18日	3・4年生	高学年・中
1月25日	幼～2年生	3・4年生

「かいけつゾロリ」「サバイバル、発明/実験対決」については、学年関係なく生徒**1人1冊まで**借りることができます。放課後、対象の本が棚に残っている場合、保護者の方にも貸出できます。図書館の限られた本をより多くの生徒に利用してもらいたい為、皆様のご協力をお願いいたします。

12月人気ランキング

児童書

- 1 ほねほねザウルス だいぼうけん！
ボコボコン・ホール / ぐるーぷアンモナイツ
- 2 おしりたんてい やみよにきえるきょじん / トロル
ルとラウのアロハ！パンケーキ / あんびるやすこ
- 3 パーシー・ジャクソンとオリンポスの神々
/ リック・リオードン

一般

- 1 沈黙のパレード / 東野圭吾
- 2 マチネの終わりに / 平野啓一郎
- 3 掟上今日子の旅行記 / 西尾維新

12月の貸出状況

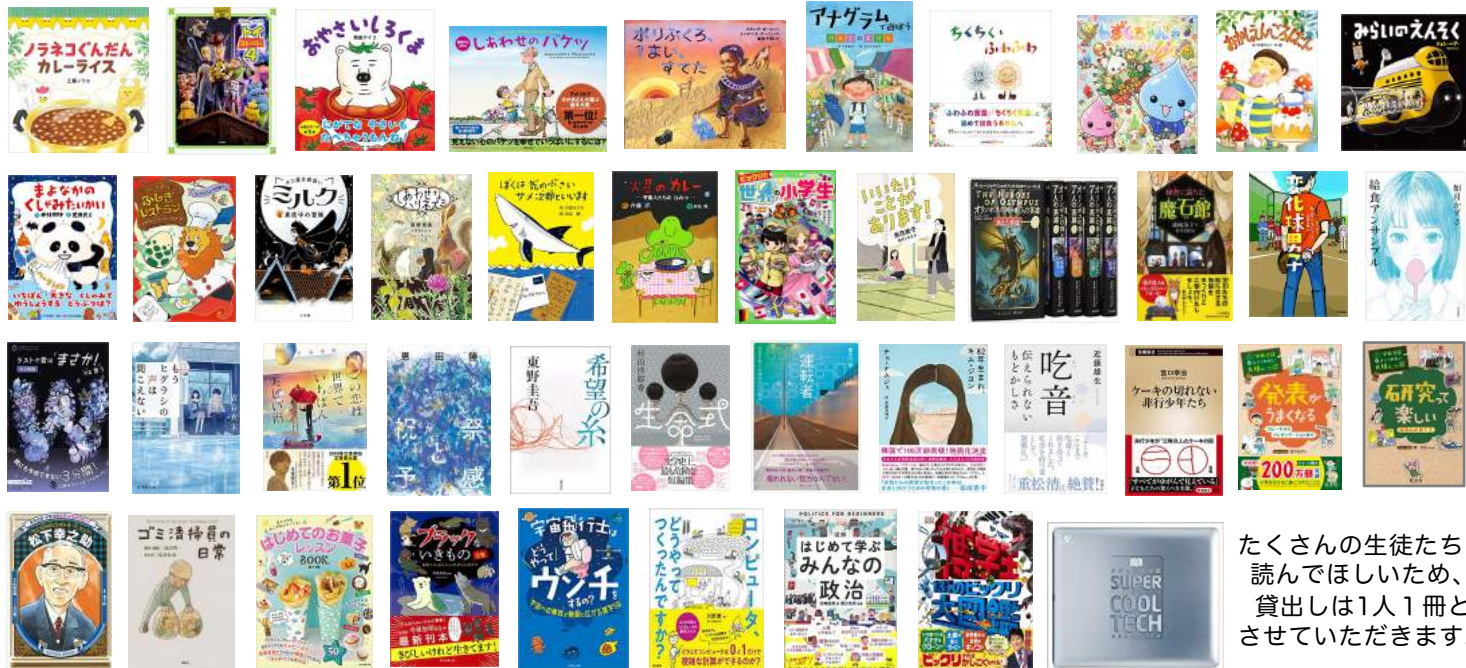
貸出利用者	
生徒	622人
保護者	382人

貸出冊数 3,129冊

冬休み前に
借りた本はすべて
返却期限が
来ています。
忘れずに返却して
ください。



毎年本を寄贈して下さる「あしながおじさん」から、たくさんの本のプレゼントが届きました。あしながおじさんは名前を明かさず、ワシントン日本語学校の子供達に「良い本をたくさん読んでほしい！」という熱い思いを込め12年前から毎年本を寄贈して下さっています。今回はこの中からおすすめ本の紹介をします。みんな、大切に読みましょう！



たくさんの生徒たちに読んでほしいため、貸出しは1人1冊とさせていただきます。



大根はエライ - 久住昌之

さまざまな料理で使われている大根。生でも煮てもおいしい。薬味として主菜の味を引き立てたり、いっしょに煮たものの味を引き立てたり。人気も実力もあるのに、どこか奥ゆかしい。メインの食材を引き立てる脇役に徹している感じがします。日本でいちばん食べられている野菜なのに、なぜでしょう？ その理由を考えるうちに、大根に「派手に生きるだけが人生じゃないぜ！」と教えられているような気がしてきます。



ようかいとりものちよう さらわれたのつべらぼう - 大崎 梯造
いなりのはなは、妖怪お江戸で評判の岡っ引き。何にでも化けることができるけれど、よく失敗もしてしまいます。今回のお話は、のつべらぼうの子どもの三平がさらわれる事件。コン七は、わらじのつくも神のワ助、ろくろ首のお六とともに、三平さがしに乗り出します。さあて、見事に解決となりますでしょうか。



うちの執事が言うことには - 高里 柊奈

日本が誇る名門、烏丸家の27代目当主となった花頼は、まだ18歳。突然の引退声明とともに旅に出てしまった父親・真一郎の奔放な行動に困惑しつつも、誰より信頼する老執事・鳳と過ごす日々への期待に胸を膨らませ、留学先のイギリスから急ぎ帰国した花頼だったが、そこにいたのは大好きな鳳ではなく、衣更月という名の見知らぬ青年で…。若き当主と新執事、息の合わない「不本意コンビ」が織りなす上流階級ミステリー！



ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー - ブレイディ みかこ

優等生の「ぼく」が通い始めたのは、人種も貧富もごちゃまぜのイカした「元・底辺中学校」だった。ただでさえ思春期ってやつなのに、毎日が事件の連続だ。人種差別丸出しの美少年、ジェンダーに悩むサッカー小僧。時には貧富の差でギスギスしたり、アイデンティティに悩んだり。世界の縮図のような日常を、思春期真っ只中の息子とバンクな母ちゃんの著者は、ともに考え悩み乗り越えていく。大人の凝り固まった常識を、子どもたちは軽く飛び越えていく私的で普遍的な「親子の成長物語」。Yahoo!ニュース本屋大賞2019ノンフィクション本大賞・第73回毎日出版文化賞特別賞。第2回八重洲本大賞受賞作品。



しまうまのたんけん - トビイ・ルツ

ある日、しまうまの子どもはさばくのおしるの王さまから、「『まぼろしのどうぶつ』を見つけると、幸せになれると言われている。見つけたらおしるに連れてきてほしい」とたのまれました。それを聞いたしまうまは、さっそくたんけんに出かけます。最初に発見したのは……？



七不思議神社 - 緑川聖司

リクは小学5年生の夏休みに、都心から引っ越してきた。ばあちゃんがひっそりとあってけがをしたからだ。近所の神社へお参りにいくと、どこか風変わりな少年タクミと出会う。「ここは七不思議神社とよばれていて、絵馬に七不思議をかくと、願いがかなうんや」と教えてくれる。リクは犯人をつかまえたくて、怪談や不思議話を集める。妖怪たちと接近したり驚くことの連続のなか、新しい仲間たちと友情を深めていく。毎日新聞の人気連載を単行本化！



線は、僕を描く - 砥上 裕将

両親を交通事故で失い、喪失感の中にあった大学生の青山霜介は、アルバイト先の展示会場で水墨画の巨匠・篠田湖山と出会う。なぜか湖山に気に入られ、その場で内弟子にされてしまう霜介。それに反発した湖山の孫・千咲は、翌年の「湖山賞」をかけて霜介と勝負すると宣言する。水墨画とは、筆先から生みだされる「線」の芸術。描くのは「命」。はじめての水墨画に戸惑いながらも魅了されていく霜介は、線を描くことで次第に回復していく。水墨画という「線」の芸術が、深い悲しみの中に生きる「僕」を救う。第59回メフィスト賞受賞作。



リアルサイズ古生物図鑑 古生代編 - 土屋 健

古生物はすでに絶滅しているだけあって、大きさがいまいちピンとこないこと、多くありませんか。もちろん「全長1m」「頭胴長3.5m」といった数字は記載されているのですが、数字だけではちょっとよくわからない……。そこで、さまざまな時代のさまざまな古生物を、現代の(身近な)風景に配置してみました。「え、これこんなに大きかったの!」「あらっ、イメージより全然小さい」といった具合に、サイズ感を直感的につかんでもらえます。古生物のサイズをめぐり、現代と古生代が交錯しながら展開するシュールな世界。そんな感覚をリアルに感じてもらえる、マニアックな1冊。



図書委員の ご紹介

今月おすすめ本の
紹介してくれるのは
中学生の生徒です。
ぜひ手にとって
みてください。

「友罪」薬丸岳 中学3年A組 大江菜映さん

私がお勧めする本は、薬丸岳さんの「友罪」という本です。物語は、主人公の益田が埼玉の小さな町工場に就職するところから物語が始まります。

その町工場に同じ日に就職した同い年の益田と鈴木は、次第にお互い打ち解けていくのですが、ある事をきっかけに益田は14年前に実家近くで起こった子供2人残酷な姿で見つかった大事件、黒蛇神事件の犯人が鈴木なのではないかと疑い始めます。それは益田にとってとても信じ難い事で、初めは自分の中のその疑惑を消したくて個人的に調査を始めていくのですが、調査を進めていくにつれて犯人と鈴木が一致する事実が次々として出てきて、鈴木が黒蛇神事件の犯人だという可能性が高くなります。

この本は、友人が世間を驚愕させた事件の犯人だったという事を知ってから益田は鈴木とどのように関わって行くか、どのように生きて行くのか、を描いた難しい人間関係と波乱万丈な人々の人生について書かれる本です。一度読み始めたら目が離せないと思います。皆さんも是非読んでみてください。



「鬼平犯科帳」池波正太郎 中学2年A組 山本誠太郎さん

僕のおすすめの本は池波正太郎の書いた「鬼平犯科帳」です。この本は火付盗賊改方長官の長谷川平蔵の捕物をもとにして書いた小説です。また、とても有名でドラマや映画化もされています。

火付盗賊改方とは、江戸時代に実際にあった今で言う警視庁のようなものです。この小説は長編で24巻あります。「鬼の平蔵」こと長谷川平蔵は一刀流の達人です。鋭い推理力と観察眼を持ち、峻厳なる取り締まりに悪党からは「鬼の平蔵」と恐れられるようになります。

一方で、犯罪者であっても義侠心に厚い者や止むに止まれぬ事情で罪を犯したものに對しては、寛容で情け深い配慮を見せる一面もあり、正義感の持ち主でもあります。火付盗賊改方の中でも生活のお金に困って盗賊の犯行を手伝う人もいたので、そういうひとたちは平蔵直々に成敗されます。

僕がこの本をお勧めする理由は、今では少ない時代劇のような話だからです。最近では身近な世界を舞台とした小説などが人気ですが、このような昔の話を読んでみるのもまたいいと思います。この本から僕も沢山の江戸時代の知識を身に着けました。それぞれの時代の話には、それぞれ読むとわかる面白さがあります。皆さんも「鬼平犯科帳」を読んでこの時代の風景や話の面白さを満喫してはどうでしょうか。



今月のクイズ

答えが分かった人は職員に声をかけてください。しおりをプレゼントします。全部わかるかな？

- Q.1 「かようびのよる」で、そらをとびまわるのはなに？
1) かえる 2) とかげ 3) さかな
- Q.2 「経営の神様」として知られパナソニックを一代で築き上げた創業者は誰ですか？
1) 野口英世 2) 松下幸之助 3) 本田宗一郎
- Q.3 1月15日に発表される芥川賞はどんな作品が選考対象となっていますか？
1) ノンフィクション 2) 大衆小説 3) 純文学